Create!Form Magicfolder

サーバー移行マニュアル (V12.3.0.1)

2025 年 **11** 月
インフォテック株式会社

目次

第 1 章　はじめに　1

第 2 章　移行先サーバーの準備　2

第 3 章　移行元サーバーでの操作　4

第 4 章　移行先サーバーでの操作　7

第 5 章　その他　9

5.1　導入ディレクトリ 9

5.2　マネージャー画面 11

5.3　帳票資源ファイル 12

5.4　移行元サーバーと移行先サーバーで導入ディレクトリが異なる場合 12

第 6 章　おわりに　14

第 1 章

はじめに

Create!Form Magicfolder は、任意のフォルダー (ディレクトリ) を監視フォルダーとして設定し、監視フォルダー内にデータファイルの生成を検知すると、あらかじめ設定したパラメータを使用して Cast ランタイムなどの帳票出力ランタイムを実行するソリューション製品です。

ここでは、導入済みの Create!Form Magicfolder を別のサーバーへ移行するための手順について記載します。

第 2 章

移行先サーバーの準備

以下の手順に従って移行先サーバーの準備を行います。Windows 環境をご利用の方は **[Windows]** 、Linux 環境をご利用の方は **[Linux]** の手順をご覧ください。

[Windows]

1. 移行先サーバーへ Create!Form ランタイムと Create!Form Magicfolder をインストールし、ライセンスパスワードの設定を行います。(インストールの詳しい手順については Create!Form Design に付属のインストールマニュアルをご覧ください)
2. インストールの完了後、サーバーの再起動を行います。
3. Windows の [コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス] を起動します。
4. 以下のサービスを停止します。
   - Create!Form Commons Container Service V12
   - Create!Form Storage Service V12
5. ユーザー設定ディレクトリ を以下のようにリネームします。

変更前	変更後
private	private_bak

6. ストレージパス を以下のようにリネームします。

変更前	変更後
storage	storage_bak

続いて 移行元サーバーでの操作 を行います。

[Linux]

1. 移行先サーバーへ Create!Form ランタイムと Create!Form Magicfolder をインストールし、ライセンスパスワードの設定を行います。(インストールの詳しい手順については Create!Form Design に付属のイ

ンストールマニュアルをご覧ください)

2. インストールの完了後、サーバーの再起動を行います。
3. root ユーザでログインし、以下のコマンドを実行してサービスを停止します。

```
# service cfccd12 stop
# service cfmongod12 stop
```

4. ユーザー設定ディレクトリ を以下のようにリネームします。

変更前	変更後
conf	conf_bak

5. ストレージパス を以下のようにリネームします。

変更前	変更後
storage	storage_bak

6. プログラムディレクトリ 直下にあるログ設定ファイル「logsetup_u.properties」を以下のようにリネームします。

変更前	変更後
logsetup_u.properties	logsetup_u.properties_bak

7. プログラムディレクトリ 直下にある QDF ファイル「default.qdf」を以下のようにリネームします。*(Create!Form Print* ランタイムをインストールしている場合のみ*)*

変更前	変更後
default.qdf	default.qdf_bak

8. プログラムディレクトリ 直下にある元号設定ファイル「era_jp.dat」を以下のようにリネームします。

変更前	変更後
era_jp.dat	era_jp.dat_bak

続いて 移行元サーバーでの操作 を行います。

第 3 章

移行元サーバーでの操作

[Windows]

1. Create!Form Magicfolder のログイン画面へアクセスし、ログインを行います。
2. ホーム画面から [帳票一覧] をクリックして帳票一覧画面を表示します。
3. 帳票資源ディレクトリ を確認します。(この帳票資源ディレクトリはあとで必要になるためメモしておきます)
4. Windows の [コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス] を起動します。
5. 以下のサービスを停止します。
   - Create!Form Commons Container Service V12
   - Create!Form Storage Service V12
6. ユーザー設定ディレクトリ を移行先サーバーの ユーザー設定ディレクトリ へコピーします。
7. ストレージパス を移行先サーバーの ストレージパス へコピーします。
8. 先ほど帳票一覧画面から確認した 帳票資源ディレクトリ を移行先のサーバーの 帳票資源ディレクトリ へコピーします。
9. 管理画面 SSL 設定を行っている場合は、 プログラムディレクトリ 内の以下のファイルを移行先サーバーの プログラムディレクトリ へコピーします。
   - vender\Jetty\etc\tls-config.xml
   - vender\Jetty\start.d\https.ini
   - vender\Jetty\start.d\ssl.ini

続いて 移行先サーバーでの操作 を行います。

[Linux]

1. Create!Form Magicfolder のログイン画面へアクセスし、ログインを行います。
2. ホーム画面から [帳票一覧] をクリックして帳票一覧画面を表示します。
3. 帳票資源ディレクトリ を確認します。(この帳票資源ディレクトリはあとで必要になるためメモしておきます)
4. root ユーザでログインし、以下のコマンドを実行してサービスを停止します。

```
# service cfccdl2 stop
# service cfmongodl2 stop
```

5. ユーザー設定ディレクトリ を移行先サーバーの ユーザー設定ディレクトリ へコピーします。
6. ストレージパス を移行先サーバーの ストレージパス へコピーします。
7. 先ほど帳票一覧画面から確認した 帳票資源ディレクトリ を移行先のサーバーの 帳票資源ディレクトリ へコピーします。
8. プログラムディレクトリ 直下にあるログ設定ファイル「logsetup_u.properties」を移行先サーバーの プログラムディレクトリ へコピーします。
9. プログラムディレクトリ 直下にある QDF ファイル「*.qdf」を移行先サーバーの プログラムディレクトリ へコピーします。
10. プログラムディレクトリ 直下にある元号設定ファイル「era_jp.dat」を移行先サーバーの プログラムディレクトリ へコピーします。
11. プログラムディレクトリ にある以下のディレクトリを移行先のサーバーの プログラムディレクトリ へコピーします。
    - dff
    - dict
    - font
    - pmode (Create!Form Print ランタイムを使用している場合のみ)
    - ppd (Create!Form Print ランタイムを使用している場合のみ)
    - sec (Create!Form Cast ランタイムを使用している場合のみ)
    - setup (Create!Form Print ランタイムを使用している場合のみ)
    - styjt (Create!Form Print ランタイムを使用している場合のみ)
    - styppd (Create!Form Print ランタイムを使用している場合のみ)

12. 管理画面 SSL 設定を行っている場合は、 プログラムディレクトリ 内の以下のファイルを移行先サーバーの プログラムディレクトリ へコピーします。

    - vender/jetty/etc/tls-config.xml
    - vender/jetty/start.d/https.ini
    - vender/jetty/start.d/ssl.ini

続いて 移行先サーバーでの操作 を行います。

第 4 章

移行先サーバーでの操作

移行元サーバーと移行先サーバーで導入ディレクトリが異なる場合、移行先サーバーでの操作を行う前に 移行元サーバーと移行先サーバーで導入ディレクトリが異なる場合 の手順が必要です。移行元サーバーと移行先サーバーで導入ディレクトリが同一の場合はそのまま以下の手順を行ってください。

[Windows]

1. Create!Form の マネージャー画面 からプリンター設定を行っている場合、移行先サーバーのプリンター設定を移行元サーバーと同じ設定にします。(マネージャー画面のプリンター設定の詳しい手順については Create!Form Design に付属のインストールマニュアルの「1-6-5 印刷環境の設定」をご覧ください)
2. 先ほどの 移行先サーバーの準備 でリネームした「private_bak」に含まれる「LICENSE_MAGICF」を ユーザー設定ディレクトリ に上書きコピーします。
3. Windows の [コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス] を起動します。
4. 以下のサービスを開始します。
   - Create!Form Commons Container Service V12

   ※「Create!Form Storage Service V12」は自動で開始するため開始する必要はありません。
5. Create!Form Magicfolder のログイン画面へアクセスし、ログインを行います。
6. ホーム画面から [帳票一覧] をクリックして帳票一覧画面を表示します。
7. 帳票資源ディレクトリ を確認します。移行元サーバーと移行先サーバーで帳票資源ディレクトリが異なる場合は、新しい帳票資源ディレクトリに変更します。

以上で Windows 環境でのサーバーの移行は完了です。

[Linux]

1. 先ほどの 移行先サーバーの準備 でリネームした「conf_bak」に含まれる「LICENSE_MAGICF」を ユーザー設定ディレクトリ に上書きコピーします。

2. root ユーザでログインし、以下のコマンドを実行してサービスを開始します。

```
# service cfccd12 start
```

※「cfmongod12」は自動で開始するため開始する必要はありません。

3. Create!Form Magicfolder のログイン画面へアクセスし、ログインを行います。
4. ホーム画面から [帳票一覧] をクリックして帳票一覧画面を表示します。
5. 帳票資源ディレクトリ を確認します。移行元サーバーと移行先サーバーで帳票資源ディレクトリが異なる場合は、新しい帳票資源ディレクトリに変更します。

以上で Linux 環境でのサーバーの移行は完了です。

第 5 章

その他

5.1 導入ディレクトリ

5.1.1 プログラムディレクトリ

製品実行時に必要なプログラムモジュールファイルが格納されるディレクトリです。

初期設定では以下のディレクトリとなります。

Windows 環境

```
C:\Program Files\Infotec\CreateForm\12
```

Linux 環境

```
tar アーカイブを展開したディレクトリ
```

5.1.2 ユーザー設定ディレクトリ

製品実行時に必要な設定ファイル、製品実行時に変更されるファイルが格納されるディレクトリです。ini ファイル、ログ設定用ファイル、QDF ファイル、データ編集定義ファイル、フォント情報定義ファイル、カラーパレットファイル、印刷詳細設定ファイル、PDF セキュリティ設定ファイルなどが含まれます。

初期設定では以下のディレクトリとなります。

Windows 環境

```
C:\ProgramData\Infotec\CreateForm\12\conf\private
```

Linux 環境

```
tar アーカイブを展開したディレクトリ/conf
```

5.1.3 ユーザーデータディレクトリ

Create!Form により作成されるファイルが格納されるディレクトリです。実行ログ、ストレージなどのデータが含まれます。

初期設定では以下のディレクトリとなります。

Windows 環境

```
C:\ProgramData\Infotec\CreateForm\12\var
```

Linux 環境

```
tar アーカイブを展開したディレクトリ/var
```

5.1.4 帳票資源ディレクトリ

Create!Form Magicfolder で使用する 帳票資源ファイル が格納されるディレクトリです。

初期設定では以下のディレクトリとなります。

Windows 環境

```
C:\ProgramData\Infotec\CreateForm\12\work\jobs
```

Linux 環境

```
tar アーカイブを展開したディレクトリ/work/jobs
```

5.1.5 ストレージパス

内部のデータベース情報 (監視フォルダー設定や環境設定、OAuth 認証で使用するトークンなど) が格納されるディレクトリです。

初期設定では以下のディレクトリとなります。

Windows 環境

```
C:\ProgramData\Infotec\CreateForm\12\var\storage
```

Linux 環境

```
tar アーカイブを展開したディレクトリ/var/storage
```

5.2 マネージャー画面

マネージャー画面は、Windows の [スタート] メニューにある [Create!Form V12]-[マネージャー] から起動する画面です。帳票資源ファイルの作成や Create!Form ランタイムの環境設定を行うことができます。

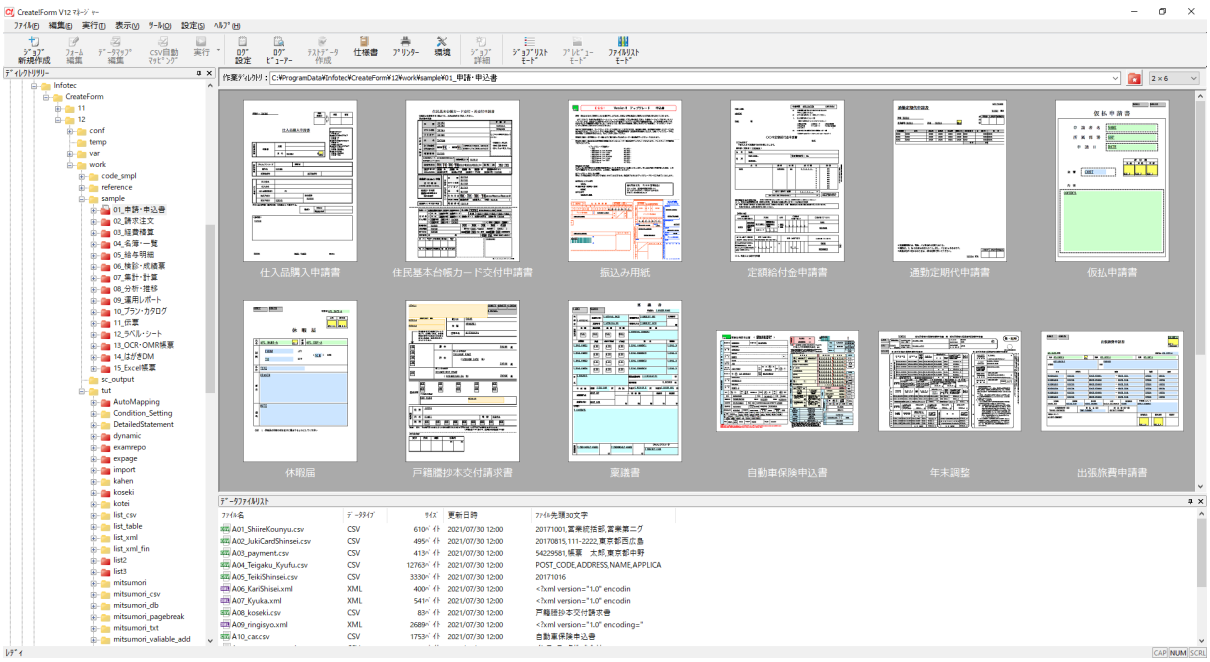

図 5.1　マネージャー画面

5.3 帳票資源ファイル

帳票資源ファイルは、Create!Form Design で作成した帳票のレイアウトデーター式を表します。帳票資源ファイルは作業ディレクトリと呼ばれるディレクトリで管理され、作業ディレクトリには 3 つのサブディレクトリ「form」「datamap」「style」が含まれます。

```
+- [作業ディレクトリ]
   +- [form]
   +- [datamap]
   +- [style]
```

5.4 移行元サーバーと移行先サーバーで導入ディレクトリが異なる場合

移行元サーバーと移行先サーバーで導入ディレクトリが異なる場合は以下の手順が必要です。

例えば、移行元サーバーと移行先サーバーで以下のように導入ディレクトリが異なる場合が該当します。

移行元サーバーの導入ディレクトリ	移行先サーバーの導入ディレクトリ
C:\Program Files\Infotec	D:\Apps\Infotec

[Windows]

1. 移行先サーバーの ユーザー設定ディレクトリ に配置されている「logsetup_w.properties」をメモ帳などのテキストエディタで開きます。
2. 「runtime.output.dir」と「runtime.rotate.dir」に記載されているパスを移行先サーバーの新しいログ出力先のパスに変更します。
3. 「logsetup_w.properties」を上書き保存します。
4. 移行先サーバーの ユーザー設定ディレクトリ に配置されている「cfmf-logsetup.properties」をメモ帳などのテキストエディタで開きます。
5. 「mf.output.dir」と「mf.rotate.dir」に記載されているパスを移行先サーバーの新しいログ出力先のパスに変更します。
6. 「cfmf-logsetup.properties」を上書き保存します。
7. 移行先サーバーの ユーザー設定ディレクトリ に配置されている「mongodb.properties」をメモ帳などのテキストエディタで開きます。
8. 「storage:」の「dbPath:」に記載されているパスを移行先サーバーの新しいストレージパスに変更します。(パスの区切り文字はスラッシュ「/」を使用してください。円記号「\」は使用できません)
9. 「systemLog:」の「path:」に記載されているパスを移行先サーバーの新しいログファイルのパスに変更します。(パスの区切り文字はスラッシュ「/」を使用してください。円記号「\」は使用できません)

10.「mongodb.properties」を上書き保存します。

引き続き 移行先サーバーでの操作 を行います。

[Linux]

1. 移行先サーバーの プログラムディレクトリ 直下に配置されているログ設定ファイル「logsetup_u.properties」を vi などのテキストエディタで開きます。
2.「runtime.output.dir」と「runtime.rotate.dir」に記載されているパスを移行先サーバーの新しいログ出力先のパスに変更します。
3.「logsetup_u.properties」を上書き保存します。
4. 移行先サーバーの ユーザー設定ディレクトリ に配置されているログ設定ファイル「cfmf-logsetup.properties」を vi などのテキストエディタで開きます。
5.「mf.output.dir」と「mf.rotate.dir」に記載されているパスを移行先サーバーの新しいログ出力先のパスに変更します。
6.「cfmf-logsetup.properties」を上書き保存します。
7. 移行先サーバーの ユーザー設定ディレクトリ に配置されている「mongodb.properties」を vi などのテキストエディタで開きます。
8.「storage:」の「dbPath:」に記載されているパスを移行先サーバーの新しいストレージパスに変更します。
9.「systemLog:」の「path:」に記載されているパスを移行先サーバーの新しいログファイルのパスに変更します。
10.「mongodb.properties」を上書き保存します。

引き続き 移行先サーバーでの操作 を行います。

第 6 章

おわりに

本サーバー移行マニュアルに記載されている内容に関してご質問がある場合、弊社サポート係までご連絡ください。

■ Create!Form ユーザーサポートサイト

URL：https://support.createform.jp

■サポートお問い合わせ

E-Mail：support-c@iftc.co.jp

Create!Form Magicfolder

サーバー移行マニュアル (V12.3.0.1)

発行日 2025 年 11 月 1 日 [第 2 版]

発行者 インフォテック株式会社